

タイトル: ゴミ問題について

会社名: (株)共栄工業 氏名: 盧宝竜

出身国: 中国

皆様、二んにちは。

はじめまして、簡単に自己紹介をさせていた  
ただきます。私は盧宝竜と申します。株式会  
社共栄工業で特定技能実習生として、型枠施  
工に関する仕事をしています。どうぞよろし  
くお願い申し上げます。

まず、二の貴重な発表の機会を提供して頂  
いた戸田建設に対して、深く感謝致します。

私は1981年11月15日生まれで、今年で  
ちょうど40歳になりました。故郷は中国山  
東省臨沂市で、四季がはっきりしていて、と  
てもきれいな所です。家族構成として、妻、  
娘と私の3人家族です。

2016年4月頃、技能実習生として初め  
て、日本に来ましたが、2019年4月に3  
年間の実習期間が満了したので、一旦帰国す  
ることになりました。

日本での仕事や生活に慣れたので、また日  
本で仕事をしたいと思い、2019年9月に  
特定活動の資格で、再度来日しました。同じ

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: \_\_\_\_\_

会社名: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_

出身国: \_\_\_\_\_

企業で型枠施工関連の仕事をして、今に至  
っています。これから、しばらく日本で仕  
事をしていきたいと思っています。

今思えば、型枠施工に関して、最初は何も  
分からないシロウトでしたが、職長や先輩達  
の丁寧な教育及び指導を受け、また自分で  
努力を重ねて、今ではほぼ一人前の大工に成  
長できました。これまで、手取り足取り教え  
てくれた職長や先輩達にも深く感謝していま  
す。

以上、簡単ですが、自己紹介を終わらせて  
頂きます。

それでは、スピーチをさせていただきます。私  
のテーマは、「ゴミ問題について」です。

グローバル工業化等の進化に伴い、我々が  
生活している唯一の地球では、色々な環境問  
題が発生してきています。例えば、地球温暖  
化問題、大気汚染問題、大気乾燥による山火  
事問題及びゴミ問題等、枚挙にいとまがない  
です。その中で私達個人にとって、一番身近

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: \_\_\_\_\_

会社名: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_ 出身国: \_\_\_\_\_

な問題は、ゴミ問題だと思っています。

近年、家庭や仕事場からゴミの排出が増え続け、ゴミ問題がどんどん深刻なものとなっていて、処理場が全て埋まってしまふなどの懸念が出てあります。このよ<sup>う</sup>な事態がないようにするには、一人一人がゴミをどのように減らすかを考えなければいけません。

しかし、ゴミは自然と出てしまっています。なので、個人ができるだけゴミを出す量を減らすというのが大事なことになります。では、具体的に、どうやって減らすかを考えていきましょう。

まず、「買うものは必要な数だけ」です。これは、「野菜等を買すぎて、食べきれない・使わない」という現象を減らせれば、ゴミは少なくなるからです。自分自身も要らない物は買わないように取り組んでいます。

次に、「包装はなるべく断わる」ということです。コンビニやスーパーで買い物をする際、レジ袋を買うとゴミが増えて、その後の

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル： \_\_\_\_\_

会社名： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

出身国： \_\_\_\_\_

分別が大変になってしまいます。なので、買い物をする時は、できるだけエコバックを持参するのが良いと思い、自分自身もいつもそのように努めています。

特に、大切なのは、「ゴミをきちんと分別して捨てる」ということです。例えば、可燃ゴミの中に不燃ゴミや<sup>リ</sup>サイクルできる資源ゴミを混ぜて、一緒に捨ててしまうと、その全体がただのゴミになり、その分蓄積し、最初に述べたゴミ処理場が埋まってしまう理由の一つになります。しかし、少し手間をかけてきちんと分別してから捨てることで、その分、ゴミの量も軽減されるし、大切な再生資源も獲得できるようになります。私自身は、普段の生活及び建設現場で、いつもこのような意識を持ち、常にゴミの分別を行っています。

その他にも、一人一人ができるような事は数多くあります。「塵も積もれば山となる」ということわざのように、このような「小さな事」を、この先も一人一人続けていけば、

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: \_\_\_\_\_

会社名: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_ 出身国: \_\_\_\_\_

ゴミを確実に減らしていけるのではないかと  
思っています。